

# 食品の安全に関するリスクコミュニケーション

## リスク分析手法の導入

- リスク分析とは、**消費者の健康の保護**を目的として、国民やある集団が危害にさらされる可能性がある場合、事故の後始末ではなく、**可能な範囲で事故を未然に防ぎリスクを最小限にするためのプロセス**
- リスクとは、食品中に危害(有害化学物質、微生物等)が存在する結果として生じる**健康への悪影響の確率とその程度の関数**
- リスクコミュニケーションとは、リスク分析の全過程を通じたリスクの評価者、リスクの管理者、消費者、事業者、学界その他関心を有する者の間の**リスクとリスクに関する要因、リスクの捉え方についての情報、意見の双方向の交換**。リスク評価結果やリスク管理措置の基本的な説明を含む。

## リスクコミュニケーションの取組

- 意見交換会の開催
- 食品の安全確保の取組をまとめたホームページ「**食品安全情報**」による情報発信  
<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/index.html>
- 政府広報等による情報発信
- 既存の取組の着実な実施  
・規制の設定又は改廃に係る意見提出手続(いわゆるパブリック・コメント)や審議会の公開、情報公開など
- リスクコミュニケーションの在り方に関する研究会



食品に関するリスクコミュニケーション(残留農薬等のポジティブリスト制度の導入に際しての生産から消費までの食品の安全確保の取組みに関する意見交換会)(福岡会場)